

Bridge

vol.14

KINJO GAKUIN UNIVERSITY Parents' Association Report
金城学院大学 父母会会報 [ブリッジ14号] 2018.7

Interview

KIDSセンター長

日比野 直子

人間科学部 現代子ども学科 准教授

大学の研究成果を子育て支援に役立てる
金城学院大学 KIDSセンター



大学の研究成果を子育て支援に役立てる 金城学院大学KIDSセンター

Interview KIDSセンター長 日比野 直子

人間科学部 現代子ども学科 准教授



日比野 直子(ひびの なおこ) プロフィール

- ◆ 専門分野 / 教育学
- ◆ 資格 / 保育士、幼稚園教諭専修免許

教育学(保育・児童学)を専門とし、主な研究課題は『当事者(子ども・保護者・支援者)の視点に立った子育て支援のあり方』など。1989年より金城学院幼稚園の教諭を務めた後、金城学院大学大学院人間生活学研究所人間発達学専攻に進み前期課程修了。2012年より金城学院大学で教鞭を執り、2018年4月、KIDSセンターのセンター長に就任。

人間科学部が展開する3学科(現代子ども学科、多元心理学科、コミュニティ福祉学科)の研究成果を地域社会へ還元し、主に0～2歳児の子どもたちの成長と保護者の方々の子育てを支援することを目的に2015年10月に開設。親子が安心して遊べる環境を整え、心理学の専門家による相談業務をはじめ、学生企画によるイベントなどのプログラムも充実。子育て世代の保護者同士の繋がりや地域の人々との交流を深める場所としても機能し、また、学生の実践的な研究学習の場としても有効活用しています。

※現代子ども学科は、2019年度より現代子ども教育学科に学科名称を変更します。

金城学院大学KIDSセンターData

- 住所 / 守山区大森2-1723 □ TEL / 052-798-4607
 - 時間 / 9:30～14:00(月～金曜日・祝日は休館、予約不要) ※混雑時には入場制限をすることがあります。
 - 利用料金 / 1人1日100円(大人・子ども同額、保険料および維持費として)
 - 主な施設 / 遊びの広場、中庭(砂場)、飲食コーナー、セミナールーム、トレーニングトイレ、駐車場・駐輪場(無料)
- <http://kids.kinjo-u.ac.jp/>



日比野先生の「専門のひとつである「子育て支援」に取り組むことになった経緯をお聞かせください。

私は金城学院幼稚園の教諭を務めていたが、10年ほど経った頃から子どもたちの変化が気になり始めました。オムツがなかなか取れなかったり食事の時間にちゃんと座って食べられなかったり、友だちと関わるのが苦手そうな幼い子が増えてきたと感じるようになったのです。

その原因は、入園前の生活経験の内容が変化してきたからというのが私の考えでした。核家族化や近所付き合いの希薄化により、0～2歳児とその親は孤立し、お母さんよりも子どもに何を体験させたらよいのかわかりません。0～2歳は社会の支援が届かない空白期間。そこを埋める「子育て支援」の必要性を強く感じました。

そこで研究・教育という新たな道へ進んだんですね。

もともと私は現場が好きですが、子育て支援をしたくても一人の力には限界があり、周りの人に理解を求めても思いがうまく伝わりません。そんなもどかしさから、子育て支援のあり方を探究するため金城学院大学大学院へ進みました。

大学院修了後、一旦は現場に戻りましたが、金城学院大学が保育の実践経験のある教員を公募しており、2012年4月、現代子ども学科の講師として着任しました。保育も子育て支援も人間力の重要性を痛切

に感じていたときでもあり、保育と子育て支援の担い手を育てる研究者・教育者という新しい扉を開きました。

KIDSセンターにはいつ頃から関わり、どのような取り組みを行ってこられましたか？

KIDSセンターに関わるようになったのは、2013年4月からでした。当時、KIDSセンターの設立準備をしておられた前センター長の宗方比佐子先生から、「現場経験や子育て支援の研究成果を活かして積極的に提案してほしい」と声を掛けていただき、「自分の思いを叶えるチャンスが来た」と、とても嬉しく思いました。

目指したのは私たちにしかできない施設であり、金城学院らしさを改めて見つめ直して導き出した答えが「豊かな資源」でした。周りを囲む自然という資源、保育や子育て分野をはじめ、大学の多岐にわたる学問領域の研究成果と専門家の知的資源、未来を担う若い人的資源。そして礎となるキリスト教精神に基づいた学院という資源。これらの資源を最大限活かして、子どもとお母さんありのままの姿で受け入れ、安心感で包み、成長を温かく見守っていく場所にしよう。そう決心しました。

日比野先生の思いは施設設計にもかなり込められているようですね。

KIDSセンター建築委員会にも参加し、設計段階から意見を述べさせていたいただきました。子どもたちの生活の自立を促す施設



子育てをみんなで共有し、お母さんが安心して子どもと向き合える場

皆さん、子どもと遊ぶことや同じ立場の人との出会いを楽しんでいるようです。利用者に薦められて来館される方も多く、お母さん同士も温かい関係で繋がっていると感じます。見学に来た人が「お母さんたちがスマホを触っていない」と驚くほど。「ここに来ると、子どもとちゃんと向き合えます」と、喜ばれる方も多いようです。

子育て支援に重要な「人間力」という点についてはいかがでしょうか。

子育て支援に重要な人材にはたいへん恵まれました。スタッフは全員、キリスト教精神や子育て支援を理解し、子どもとお母さんが持っている力を信じて静かに見守り、必要ときにすっと手を差し伸べる。マニュアルがあればできることではなく、人間力のなせる技です。閉館後、スタッフたちは絵本や玩具、イスや机の片付けを行います。中庭のおもちゃもひとつひとつきれいに洗って。その際、破損の有無も細かくチェックします。誰かの指示によるものではなく、翌日も安全に気持ちよく使ってもらいたいという気持ちで、自発的な行動となって現れているのです。

学生たちの研究学習においては、KIDSセンターはどのような存在なのでしょう。

学生たちにとって貴重な経験を積む場所になりました。ゼミでここを訪れた現代子ども学科の学生たちは、まず子どもたちの愛らしさに心を奪われます。そして、お母さんたちが子育てのプロだということに気づかされます。

座学だけだと「保育の専門家として子どもを育てるんだ」「母親の養育力の低下をサポートするのは自分なんだ」と、頭でっかちになってしまう学生も少なくありません。しかし、子どもやお母さんたちと実際に関わると、ガラリと変わります。子どもの自立心や成長力、お母さんの保育者としてのすばらしさに驚き、感激しています。

また、学部学科の垣根を取り払い、1・2年生対象の共通教育科目に「KIDSセンタープロジェクト」を配置して、私も担当しています。15人定員のクラスに様々な学部学科の学生が在籍し、志向の異なる学生たちが一緒にあって、段ボール遊具の制作などを行っています。

今年度からセンター長に就任されましたが、どんなお気持ちでしょうか。

現場を離れたことに寂しさを感じますが、「スタッフがよりよい支援をできるように黒子に徹する」と自分に言い聞かせ、事故に繋がる要因はないか、スタッフに負担が掛かりすぎていないかなど、常に気を配っています。

2018年度 キャリア支援センターが行う 3年生対象就職関連イベント

就職筆記試験対策講座	9月中旬～11月中旬
第5回 就職ガイダンス「業界研究直前講座」	9月24日(月)～28日(金)
第6回 就職ガイダンス「内定者による就職活動報告会<就活サポーターの紹介>」	10月1日(月)～3日(水)・5日(金)
業界研究セミナー	10月～
総合職対象ガイダンス	10月4日(木)
製品から企業を知る「融る」企業研究セミナー	10月9日(火)
企業パンフレット配布会	10月15日(月)・16日(火)
第2回公務員・教員 就職ガイダンス「選考の内容把握」	10月18日(木)
ご父母向け『就職説明会』	10月27日(土)
医療・福祉 内定者報告会&就職ガイダンス	11月上旬
Web筆記試験対策講座【応用編】	11月7日(水)・8日(木)
食環境栄養学科就職ガイダンス	11月頃
第7回 就職ガイダンス「第一印象で差をつける<マナー講座>」	11月19日(月)～21日(水)・23日(金)
就職筆記試験対策講座 直前模擬試験	11月26日(月)～30日(金)※1
第8回 就職ガイダンス「グループディスカッションに挑戦」	12月4日(火)～7日(金)
第2回幼保小 就職ガイダンス「内定者報告会」	12月頃
集団面接・グループディスカッション対策実践講座vol.1	12月10日(月)～21日(金)※2
日本経済新聞活用講座(第1回・第2回)	第1回12月12日(水)、第2回未定
第9回 就職ガイダンス「内定を決める就活実践編<模擬面接を交えて>」※3	1月7日(月)～9日(水)・11日(金)
エントリー予定企業リストの提出	1月7日(月)～21日(月)
1DAY就活全部体験講座	1月12日(土)
今こそ受ける集団模擬面接!怒涛の三連発!!	1月16日(水)
集団面接・グループディスカッション対策実践講座vol.2	1月下旬～5月
社労士に聞く給与明細の仕組み	2月15日(金)
就活サポーターOG懇談会	2月16日(土)
就活キックオフセミナー	2月25日(月)
学内企業セミナー	3月1日(金)～14日(木)※4
第3回幼保小 就職ガイダンス「履歴書の書き方」	3月上旬
管理栄養士企業セミナー	3月頃
第4回幼保小 就職ガイダンス「模擬面接」	4年次5月中旬
教員採用試験説明会	4年次5月中旬
保育士就職対策模擬試験	4年次5月中旬
公務員・教員試験直前面接練習	4年次8月頃

※1:11月28日(水)を除く ※2:土日祝を除く ※3:幼稚園・保育園・小学校への就職希望者を除く ※4:3月5日(火)、土日祝を除く



キャリア・アップ講座	
公務員	公務員試験 一般教養試験対策講座 (Step.3完成コース) 公務員模擬試験【行政職】(教養科目+小論文)
教員	教員採用模擬試験 (12月受験コース)
企業	実践!面接会話術 エントリーシートや論文を上手に書く手法 (5日間コース) SPI3 (筆記試験) テクニック [DVD & テキスト]SPI対策講座 (秋期コース) 何をすればいいかわかる自己分析講座 自分にあった業界や職種に気づく講座 履歴書やエントリーシートを上手に書くテクニク (半日コース) 就職に役立つ実践プレゼン講座 ～アウンサー・C A・難関職種試験対策～ (後期コース)
マナーおためし	美文字テクニク マナー講座
メイク身だしなみ	就活定番メイク (Aコース) (Bコース)

12月募集	
公務員	公務員試験 一般教養試験対策講座 (Step.4直前コース) 公務員模擬試験【行政職】(教養科目+小論文) 公務員模擬試験【保育職】(教養科目+小論文+専門科目)
教員	教員採用試験対策講座 (教養試験コース) 教員採用試験対策講座 (小学校全科コース)
企業	45分マンツーマン個人面接テクニク [DVD & テキスト]SPI対策講座 (冬期コース) グループディスカッション講座 ひとときわ際立つ面接テクニク 就活キャッチアップ講座 ※申込期間が異なります。 入社試験体験講座
パソコン	MOS Word2016スペシャリスト試験対策講座 (春休みコース) MOS Excel2016スペシャリスト試験対策講座 (春休みコース) MOS Power Point2016スペシャリスト試験対策講座 (春休みコース)
メイク身だしなみ	キラリと光る履歴書用メイクフォト

研究トピックス

海外研修助成費を
いただいて

文学部 外国語コミュニケーション学科
橋 広司 准教授

ニュージーランドのツバル人移民と言語接触

父母会海外研修助成費を受け、2017年8月下旬～9月上旬にわたって、ニュージーランドの最大都市オークランドにて社会言語学的なフィールド調査を実施しました。この調査の主目的は、オークランドに住むツバル人コミュニティにおいて、移民たちの母語(ツバル語)と英語の使用状況を観察するとともに、聞き取り調査により彼らの言語意識を明らかにすることでした。また、今回の調査は、私にとってツバルにかかわる研究の第一歩であったため、滞在中に新たな言語文化的問題を発見することも目的のひとつとしていました。

移民と言語の関係にかんする研究という点と、現地語教育や継承語教育および母語維持・母語使用の問題、さらにアイデンティティの揺らぎやハイブリッド化問題などのように、移住した個人ないし集団内に起こる顕在的・潜在的問題を取りあげたものが多くみられます。たとえば在日ベトナム人のための言語教育政策研究などがそれにあたります。このようなテーマは、多文化共生がすすむ社会においてますます必要になることは間違いないでしょう。しかし、ベトナム人の移民の問題は、いままでベトナム語そのものの言語衰退・消滅に関わる問題となるわけではなく、むしろ、なぜならベトナム語は本国の公用語として7000万人近い話者人口を国内に有しているからです。

ところが、ポリネシアやミクロネシア島嶼部の言語は、人々の移動が直接的にその衰退の危機を引き起こす可能性があります。もともと人口が少ないうえに、話者の国外流出と移住先での言語交替がすすんでおり、なかにはラトロンガ語やニウエ語などのように消滅の危険にさらされている言語もあります。少数



言語にとって、話者集団の離散は言語の脆弱化の原因になりうるのです。それでも、彼らによりよい職業、教育、医療を得るために、あるいは気候変動からくる不安がゆえに、島を離れたかの地で生きることを決めるわけでは、今回、オークランドのツバル人と生活をともにして、かたくなにツバル語・ツバル文化に固執して生活している大人たちの姿がある一方で、英語社会に順応し、母語を忘れていく若者の姿があるということが印象的でした。今後、引き続き島嶼系移民の集まるオークランドにてツバル語を中心に、危機言語であるラトロンガ語やニウエ語と、比較的「元氣」なサモア語などの比較調査も視野にいれ、島嶼系移民言語の興廃の要因を明らかにしていきたいと考えています。さらに、ツバルにも足を運び、現地の言語教育や島民の言語意識についても調査をすすめるつもりです。この度は、父母会海外研修助成費をいただき、新たな研究への第一歩を踏み出すことができましたこと、心より感謝を申し上げます。

子どもとふれあい、自ら感じたことから 学生が実践的に学び成長する場

現代子ども学科の学生は1年次に全員、「KIDSセンター」と「金城学院幼稚園」の見学を行います。このような体験型学習を取り入れることは学生たちの学ぶ意欲の刺激となっています。一部のゼミでは実際に施設内で実習を行っており、地域社会に根付いた実践の場とつながり、より質の高い研究・学習環境を創り出しています。学生ボランティアも受け入れながら、自主的な活動をサポートしています。



今年で3年目に入ったKIDSセンターの課題やビジョンとは?

2年目から常駐スタッフを増員しなければならぬほど利用していただく方は増えていますが、まだKIDSセンターの存在を知らず、孤立している子どもたち、お母さんたちがたくさんいます。この施設の存在を広く知っていただくことが課題であり、その一環として「プレマ座談会」などを計画しています。

また金城学院大学では、2018年4月に「女性みらい研究センター」を発足しました。これは「子育て」、「キャリア」、「再就職」、「ヘルスケア・メンタルケア」などの視点で、大学の研究成果をもとに多様な立場や世代の異なる女性に適切なサポートを提供する支援機関であり、その中で、KIDSセンターが「子育て」を担うこととなります。子育て期は、一人の女性と一人の子どもの一生が重なり合う大切な時期ですから、とてもやりがいを感じています。

最後に保護者の皆様へのメッセージをお聞かせください。

KIDSセンターは学生や教員のほかに、イベントなどで地域の方々にも関わっていただいています。支えてくれる人が周りにたくさんいることは、お母さんたちにとって大きな安心と力に繋がります。保護者の皆様もぜひ、子育ての大先輩としてKIDSセンターを見守り、応援してください。



センターの運営について、前センター長の宗方先生には今も気に掛けていただいています。先日私が、利用者の方の要望に応じて拡大してきた相談業務の今後について悩んでいると、「センターを安全・安心にご利用いただくために、最初に定めたルールや自分たちができることを冷静に振り返りましょう」とアドバイスをいただき、方針を決めることができました。宗方先生をはじめ運営委員会や学内の様々な関係部署など、たくさんの方々の支えがあつて責任あるセンター長を務めていると心から感じています。

予算及び決算につきまして、主な点を説明します。

▶ 2017年度決算について

すべての事業につきまして、予算内で実行することができました。3・4年生を対象とした就職支援及び1年生対象の基礎学力向上のための助成や、学生が学習成果を公表するための助成をはじめ、大学生活を充実させるための様々な助成を行いました。

▶ 2018年度予算について

今年度もキャリア支援の充実を引き続き行ってまいります。また、学習成果公表等助成や課外活動助成など、学生のための予算を増額することが承認されました。

収入の部	◎2017年度収支決算			◎2018年度収支予算		
	決算額	予算額	増減	2018年予算額	2017年予算額	増減
前年度繰越金	11,985,500	11,985,500	0	15,421,996	11,985,500	3,436,496
入会金 7,000円	8,771,000	8,771,000	0	8,911,000	8,771,000	140,000
会費 12,000円	62,388,000	63,552,000	△ 1,164,000	63,600,000	63,552,000	48,000
雑収入 預金利息	4,008	100,000	△ 95,992	100,000	100,000	0
合計	83,148,508	84,408,500	△ 1,259,992	88,032,996	84,408,500	3,624,496
支出の部	◎2017年度収支決算			◎2018年度収支予算		
	決算額	予算額	増減	2018年予算額	2017年予算額	増減
学生教育助成費	3,799,942	3,800,000	△ 58	3,800,000	3,800,000	0
学生キャリア教育助成費	14,828,560	14,828,560	0	15,006,320	14,828,560	177,760
学生活動助成費	10,211,596	11,034,400	△ 822,804	11,040,000	11,034,400	5,600
学生指導助成費	2,317,343	3,177,600	△ 860,257	3,180,000	3,177,600	2,400
教育研究助成費	12,947,829	13,065,000	△ 117,171	13,369,400	13,065,000	304,400
教員研修助成費	2,198,003	3,950,000	△ 1,751,997	4,050,940	3,950,000	100,940
事務研修助成費	1,600,000	1,600,000	0	1,600,000	1,600,000	0
地区別懇談会助成費	3,291,496	4,000,000	△ 708,504	4,000,000	4,000,000	0
卒業記念事業費	3,000,000	3,000,000	0	3,000,000	3,000,000	0
環境整備助成費	2,000,000	2,000,000	0	2,000,000	2,000,000	0
父母会活動費	7,513,815	8,900,000	△ 1,386,185	8,900,000	8,900,000	0
学生施設建設助成積立金	2,000,000	2,000,000	0	2,000,000	2,000,000	0
周年事業積立金	2,000,000	2,000,000	0	2,000,000	2,000,000	0
雑費	17,928	1,000,000	△ 982,072	1,000,000	1,000,000	0
予備費	0	10,052,940	△ 10,052,940	13,086,336	10,052,940	3,033,396
次年度繰越金	15,421,996	—	15,421,996	—	—	—
合計	83,148,508	84,408,500	△ 1,259,992	88,032,996	84,408,500	3,624,496
特別会計の部	◎2017年度収支決算			◎2018年度収支予算		
	決算額	予算額	増減	2018年予算額	2017年予算額	増減
周年事業積立金	33,000,000	33,000,000	0	33,000,000	33,000,000	0
学生施設建設助成積立金	12,000,000	12,000,000	0	12,000,000	12,000,000	0

今年度も夏休みに地区別懇談会を開催します。

例年どおり4会場で開催する予定です。開催日程は以下の通りです。大学の現状や当該地域における就職状況説明の後、懇談の時間を設けております。各地区の方々には、別途ご案内を送りしております。

四日市	金沢	岐阜	浜松
8月25日(土) 13:30~16:00 四日市都ホテル	9月1日(土) 13:30~16:00 ホテル金沢	9月8日(土) 13:30~16:00 岐阜グランドホテル	9月15日(土) 13:30~16:00 グランドホテル浜松

総会報告

去る2018年5月23日(水) 大学にて父母会総会が開催され、2017年度の事業報告・決算、2018年度の事業計画・予算などが承認されました。

	◎2017年度事業報告	◎2018年度事業計画
入学式後の父母対象大学説明会	2017年4月1日(土) 入学式後を利用して、入学生の父母を対象に以下の内容について説明を行った。 ①キリスト教教育について ②教育方針等について ③学生生活について ④大学父母会の活動について	2018年4月2日(月) 入学式後を利用して、入学生の父母を対象に以下の内容について説明を行った。 ①キリスト教教育について ②教育方針等について ③学生生活について ④大学父母会の活動について
役員会	2017年5月19日(金) ●役員会 総会審議事項の確認 ①2016年度事業報告 ②2016年度会計報告 ③2017年度役員・委員候補者 ④2017年度事業計画 ⑤2017年度予算 教育懇談 ●新旧役員及び大学役職者の歓送迎会	2018年5月15日(火) ●役員会 総会審議事項の確認 ①2017年度事業報告 ②2017年度会計報告 ③2018年度役員・委員候補者 ④2018年度事業計画 ⑤2018年度予算 教育懇談 ●新旧役員及び大学役職者の歓送迎会
総会	2017年5月31日(水) ●総会 ①2016年度事業報告 ②2016年度会計報告 ③2017年度役員・委員候補者 ④2017年度事業計画 ⑤2017年度予算 ●全体説明会 ①大学の現状報告 ②就職状況について ●講演会 演題:女性の健康のために知っておきたい骨粗しょう症とその予防法 講師:株式会社ファンケル執行役員・ファンケル大学専任教授 山口 宏二 本学客員教授 ●学科別懇談会	2018年5月23日(水) ●総会 ①2017年度事業報告 ②2017年度会計報告 ③2018年度役員・委員候補者 ④2018年度事業計画 ⑤2018年度予算 ●全体説明会 ①大学の現状報告 ②就職状況について ●講演会 内容:文学部音楽芸術学科ヴォーカルアンサンブルグループ「リリー・ミュージズ」による演奏 ●学科別懇談会
地区別懇談会	四日市/2017年8月26日(土) 父母・学生出席者/104名 浜松/2017年9月2日(土) 父母・学生出席者/86名 金沢/2017年9月9日(土) 父母・学生出席者/21名 岐阜/2017年9月16日(土) 父母・学生出席者/158名 ●大学の教育方針について ●学生生活について ●就職状況について ●自由懇談	四日市/2018年8月25日(土) 金沢/2018年9月1日(土) 岐阜/2018年9月8日(土) 浜松/2018年9月15日(土) ●大学の教育方針について ●学生生活について ●就職状況について ●自由懇談
委員との懇談会	2017年10月20日(金) ●講演会 演題:ネットショッピングに関する消費者教育の授業研究-新学習指導要領を見据えて- 講師:金城学院大学 生活環境学部 上野 顕子 教授 ●父母会役員・大学役職者とクラス委員との懇談会	2018年10月25日(木) ●講演会 ●父母会役員・大学役職者とクラス委員との懇談会
定期懇談会	2017年12月1日(金) ●大学の近況報告 ●父母会活動報告 ●教育懇談	2018年12月6日(木) ●大学の近況報告 ●父母会活動報告 ●教育懇談
役員会	2018年2月9日(金) ●今年度父母会活動の総括 ●卒業記念品について ●教育懇談	2019年2月8日(金) ●今年度父母会活動の総括 ●卒業記念品について ●教育懇談
役員会	2018年3月17日(土) ●次年度日程について	2019年3月18日(月) ●次年度日程について

金城学院大学父母会 会長 半谷 眞一郎

今年度より父母会会長を務めさせていただきます半谷と申します。

会員皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は父母会の活動に深いご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

大学の取り組みや父母会活動についてご報告させていただく父母会会報誌「Bridge」第14号が完成しましたのでお届けいたします。5月23日に開催されました総会には、お忙しい中多数の方々にご出席をいただき誠にありがとうございました。皆様のご協力によりまして、別頁に掲載しております議案につきまして、すべて原案通り承認いただきました。総会後には大学全体説明会、文学部音楽芸術学科 ヴォーカルアンサンブルグループ「リリー・ミュージック」による演奏、そして学科別懇談会を行い、すべてのプログラムが実りあるものであったことを大変喜んでおります。ご協力いただきました教職員の皆様にも心よりお礼を申し上げます。

現在、大学において「KMP21(金城学院キャンパスマスタープラン)」が進み、美しく、使いやすいキャンパスへと整備されてまいりました。これからも学生たちが生き生きとしたキャンパスライフを送るための安全で機能的な大学施設がさらに充実していきます。

最後になりましたが、今後も父母会へのご支援を賜りますようお願いするとともに、会員皆様のなご一層のご健勝を心からお祈り申し上げます。ごあいさつに代えさせていただきます。

金城学院大学 学長 奥村 隆平

父母会会員の皆様には、学生への奨学金や課外活動に対する助成をはじめ、本学の教育や研究に多大のご支援をいただき、さらには、2017年度卒業記念品としてソーラー電波時計をご寄付くださり、心より感謝いたします。

2012年度より実施しております「KMP21(金城学院キャンパスマスタープラン)」は、エラ・ヒューストン記念礼拝堂、N1棟、N2棟、W3棟、センターコートが完成し、全体で3期にわたる大学キャンパスリニューアルのうち、第2期まで終了いたしました。今後は2020年度の完成に向けて第3期のE1棟新設を開始いたします。この「KMP21」を通して、学生たちの多様な交流を促す空間を創出し、安全で使いやすく質の高い教育・研究環境を整備してまいります。

今後の本学の運営方針といたしましては、建学の精神、すなわち「福音主義キリスト教に基づく女子教育」、「全人的な一貫教育」、「国際理解の教育」を堅持しつつ、教育と研究の一層の発展を目指します。また、学生諸君には本学で学んだことを大切に、就職面や資格取得面で怠りないように心がけつつ、女性としての社会貢献はいかにあるべきかを常に考えていただきたいと思います。

私が考える本学の大切な特色は、建学の精神にもあるように「福音主義キリスト教に基づく女子教育」ですが、それとともに「森の中のキャンパス」という面もあります。第一の点について言えば、今後、世の中は少子高齢化でますます労働力が不足し、今以上に女性の社会進出が期待されるようになり、リーダーシップを発揮できる女性がさらに必要とされる時代になるでしょう。本学の教育スローガンである「強く、優しく。」を掲げ、広い教養、高い専門的知識、あるいは的確な技能など社会で生きる上での強みを持ちながら、隣人に対して愛をもって接することのできる優しさを身につけた女性の育成に尽力いたします。そして、もうひとつ、緑に包まれた「森の中のキャンパス」については、キャンパス内に里山がある環境で学ぶことにより、自然との共生や自然環境の保護に目が向けられていくことでしょう。日本と世界の未来を考えると、環境問題について無関心ではられません。この意味で本学は学びの場として理想的な環境を提供しているのです。

金城学院大学は、これまでキリスト教精神に基づく女性のための理想的な教育を追及してまいりました。これからもその歩みを続けてまいります。

Campus Topics | 学内トピックス

卒業記念品として ソーラー電波時計を寄贈

2017年度卒業記念品として、ソーラー電波時計を寄贈し、体育館横のテニスコートに設置いたしました。

